

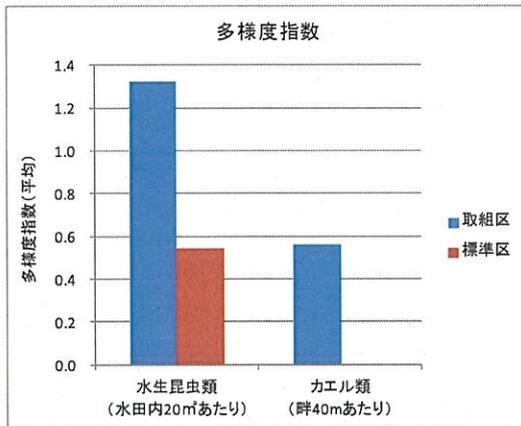
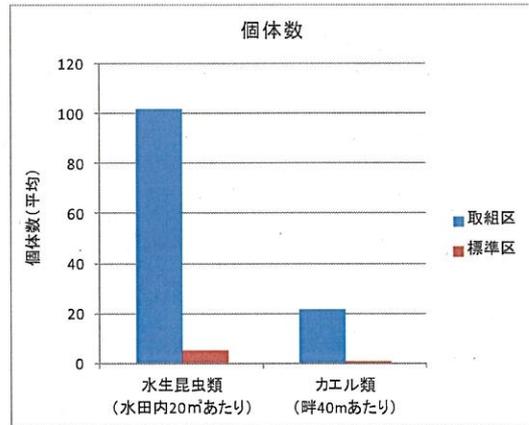
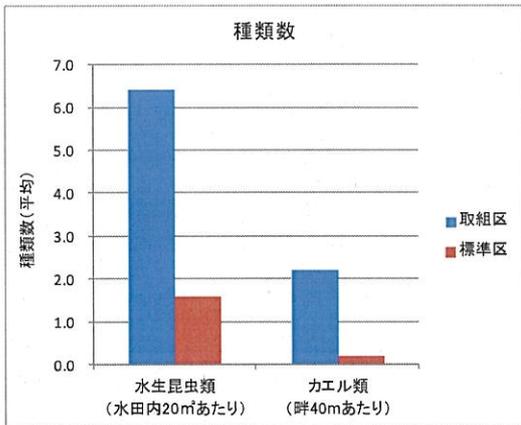
総合的病害虫・雑草管理（IPM）と組み合わせた魚毒性の低い

除草剤 1 回と畦畔機械除草 3 回以上

取組区と標準区の比較

調査地点数:5地点	種類数		個体数		多様度指数※	
	取組区	標準区	取組区	標準区	取組区	標準区
水生昆虫類(水田内20m ² あたり)	6.4	1.6	102	5.0	1.32	0.54
カエル類(畔40mあたり)	2.2	0.2	21.4	0.2	0.56	0

※多様度指数は「種の豊富さ」と「個体数のばらつき」を評価したもので、**数値が大きいほど生き物が豊かでバランスが取れている**ことを意味する。



総合的病害虫・雑草管理（IPM）と組み合わせた魚毒性の低い除草剤 1 回と畦畔機械除草 3 回以上の取組区分について、取組区と標準区を比較すると、水生昆虫類、カエル類の種類数・個体数ともに、取組区のほうが多くなる傾向が認められた。

また、多様度指数についても水生昆虫類、カエル類ともに取組区のほうが高い結果となった。



取組区の水田（池田町）



多く確認された水生昆虫類（コミズムシ）